



薄い文字をゆっくりなぞりましょう

露にぬれつつ

わが衣手は

苦をあらみ

かりほの庵の

秋の田の

作者： 天智天皇

年代： 飛鳥時代（作者の時代）

出典：『小倉百人一首』 第1番

意味

秋の田んぼの仮小屋は、屋根の編み目が粗く、  
私の袖は夜露にぬれ続けている、という歌です。

